

平成20年度学会発表・講演等一覧

[総務部]

- ◇第37回国土地理院報告会 平成20年6月3日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・使い易くなる地図—測量成果複製承認の新しい運用—：桐内勉

[企画部]

- ◇第37回国土地理院報告会 平成20年6月3日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・新しい測量・地図作成—作業規程の準則の改正—：河瀬和重
 - ・地図の活用を進める—地理空間情報活用推進基本計画と国土地理院の取組—：大木章一
- ◇日本国際地図学会平成20年度定期大会 平成20年8月7日～20日 国土地理院（茨城県つくば市）
 - ・地理空間情報活用推進法と関連する国土地理院の取組み：大木章一

[測地部]

- ◇日本地球惑星科学連合2008年大会 平成20年5月25日～30日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
 - ・干渉SARを用いた地盤沈下の監視について：雨貝知美・鈴木啓・藤原みどり・和田弘人・松坂茂
 - ・超高速データ転送・自動データ処理による地球姿勢計測への取組：栗原忍・町田守人・小門研亮・重松宏実・谷本大輔（エイ・イー・エス）・小山泰弘（情報通信研究機構）・関戸衛（情報通信研究機構）
 - ・ALOS/PALSARのFBDポラリメトリデータを用いた火山活動情報の抽出：2007年フルネーズ火山での適用例：和田弘人・矢来博司（地理地殻活動研究センター）・H. Essam（IPGP）・S. Thomas（IPGP）
 - ・1m級アンテナを用いた基線場検定用VLBIシステムの開発状況：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（情報通信研究機構）・瀧口博士（情報通信研究機構）・久保木裕充（情報通信研究機構）・近藤哲朗（情報通信研究機構）・小山泰弘（情報通信研究機構）・町田守人・栗原忍
- ◇日本第四紀学会2008年大会 平成20年8月22日～24日 東京大学本郷キャンパス理学部1号館小柴ホール（東京都文京区）
 - ・岩手・宮城内陸地震における既存の構造に沿った地殻変動について—水準測量及びSAR干渉解析から—：津澤正晴・雨貝知美・飯村友三郎（測地観測センター）・中島秀敏（東北地方測量部）・根本盛行・小澤慎三郎（地理地殻活動研究センター）・飛田幹男（地理地殻活動研究センター）・山田晃子（地理地殻活動研究センター）・矢来博司（地理地殻活動研究センター）
- ◇平成20年度国土交通省国土技術研究会 平成20年10月9～10日 中央合同庁舎2号館（東京都千代田区）
 - ・セミ・ダイナミック補正について：檜山洋平
- ◇第124回SGEPSS（地球電磁気・地球惑星）学会総会及び講演会 平成20年10月9日～12日 仙台市戦災復興記念館（宮城県仙台市）
 - ・広帯域MT固定連続観測システムによる地殻比抵抗時間変化の評価の試み：菅原安宏・篠原将人・石倉信広・石原操・嵯峨諭・根本悟・阿部聡（東北地方測量部）・門脇俊弘（東北地方測量部）・佐藤秀幸（大成基礎設計(株)）
- ◇日本測地学会第110回講演会 平成20年10月22日～24日 函館市民会館（北海道函館市）
 - ・新しい日本重力基準網の構築（2）：本田昌樹・菅原安宏・田上節雄・日下正明・石原操

- ・火山地帯における高精度三次元測量方法の確立：根本盛行・菊池新市・菅原準・住谷勝樹・今給黎哲郎（地理地殻活動研究センター）・渡辺暉透（帝国建設コンサルタント）・一川毅彦（帝国建設コンサルタント）
- ・アジア太平洋地域の地殻変動監視事業：松坂茂・村上克明（中国地方測量部）・町田守人・小谷京湖（測地観測センター）
- ・つくば 32mVLBI 観測局における CONT08 キャンペーン観測への取り組み：谷本大輔（エイ・イー・エス）・亀澤泰子（エイ・イー・エス）・栗原忍・小門研亮・重松宏実・中島俊夫（日本科学技術研修所）
- ・クワッドリッジホーンアンテナを用いた電波望遠鏡の測地 VLBI における性能評価：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（情報通信研究機構）・瀧口博士（情報通信研究機構）・岳藤一宏（情報通信研究機構）・小山泰弘（情報通信研究機構）・栗原忍・小門研亮・谷本大輔（エイ・イー・エス）
- ◇2008 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 20 年 12 月 23 日～25 日 岐阜大学工学部（岐阜県岐阜市）
 - ・国土地理院機関報告：和田弘人
 - ・クワッドリッジホーンアンテナを用いた電波望遠鏡の測地 VLBI における性能評価：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（情報通信研究機構）・瀧口博士（情報通信研究機構）・岳藤一宏（情報通信研究機構）・小山泰弘（情報通信研究機構）・栗原忍・小門研亮・谷本大輔（エイ・イー・エス）
- ◇第 3 回全地球観測システム（GEOSS）アジア太平洋シンポジウム 平成 21 年 2 月 4 日～6 日 京都リサーチパーク（京都府京都市）
 - ・アジア太平洋地域の地殻変動監視事業：松坂茂・村上克明（中国地方測量部）・町田守人・小谷京湖（測地観測センター）
- ◇第 8 回 IVS 技術開発センターシンポジウム 平成 21 年 2 月 18 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター（茨城県鹿嶋市）
 - ・クワッドリッジホーンアンテナを用いた電波望遠鏡の測地 VLBI における性能評価：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（情報通信研究機構）・瀧口博士（情報通信研究機構）・岳藤一宏（情報通信研究機構）・小山泰弘（情報通信研究機構）・栗原忍・小門研亮・谷本大輔（エイ・イー・エス）
 - ・UT1 迅速計測用データ処理・解析ツールの運用：農澤健太郎（エイ・イー・エス）・重松宏実・小門研亮・栗原忍
- ◇平成 20 年度京都大学防災研究所研究発表講演会 平成 21 年 2 月 24 日～25 日 京都テルサ（京都府京都市）
 - ・阿蘇火山周辺における水準測量（2008 年 9 月-10 月）：大倉敬宏（京都大学）・吉川慎（京都大学）・井上寛之（京都大学）・宇津木充（京都大学）・鍵山恒臣（京都大学）・寺田暁彦（京都大学）・山本圭吾（京都大学）・高山鐵朗（京都大学）・山崎友也（京都大学）・多田光宏（京都大学）・加藤将行（京都大学）・由井智志（京都大学）・立尾有騎（京都大学）・松島健（九州大学）・内田和也（九州大学）・中元真美（九州大学）・山下裕亮（九州大学）・平岡喜文・三森庸里江・根本盛行
- ◇地震・火山噴火予知研究成果報告シンポジウム実行委員会 平成 21 年 3 月 3 日～4 日 東京大学地震研究所（東京都文京区）
 - ・VLBI 測量：和田弘人
 - ・地磁気測量：嗟峨論
 - ・高精度三次元測量(水準測量)：成田次範
 - ・高度地域基準点測量(GPS 測量)：成田次範
 - ・観測強化地域高精度三次元測量（水準測量）と特定観測地域/重点地域高精度三次元測量（水準測量）：

錦輝明

- ・絶対重力観測：日下正明
 - ・変動地形調査（GPS、EDM）：錦輝明
 - ・機動観測：錦輝明
 - ・高精度地盤変動測量（干渉 SAR）：和田弘人
 - ・衛星リモートセンシングデータ解析による海外巨大地震に関する調査・研究：和田弘人
- ◇IVS VLBI2010 Workshop on Future Radio Frequencies and Feeds（国際 VLBI 事業 観測周波数とアンテナの将来に関する VLBI2010 技術講習会） 平成 21 年 3 月 18 日～21 日 ドイツ国ヴェッセル市
- ・Evaluation of a Radio Telescope Using a Quad-ridge Horn Antenna on Geodetic VLBI（クワッドリッジホーンアンテナを用いた電波望遠鏡の測地 VLBI における性能評価）：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（情報通信研究機構）・瀧口博士（情報通信研究機構）・岳藤一宏（情報通信研究機構）・小山泰弘（情報通信研究機構）・栗原忍・小門研亮・谷本大輔（エイ・イー・エス）

[測図部]

- ◇第 37 回国土地理院報告会 平成 20 年 6 月 3 日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
- ・「だいち」による地図の修正－ALOS/PRISM の活用－：石関隆幸
- ◇日本写真測量学会平成 20 年度年次学術講演会 平成 20 年 6 月 19 日～20 日 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
- ・車載型地上レーザ機器を用いた自動倒壊家屋抽出手法の検討：高橋祥
 - ・新潟県中越沖地震の前後 2 時期の空中写真を用いた自動倒壊家屋抽出手法の検討：渡部金一郎
 - ・ALOS/PRISM の RPC モデルを用いたステレオ図化精度検証：佐藤壮紀
 - ・デジタル航空カメラによる夕刻撮影の試み：渡部金一郎
- ◇写真測量・リモートセンシング国際学会第 21 回会議 平成 20 年 7 月 3 日～11 日 北京国際会議場（中華人民共和国北京市）
- ・Reversal of Cartographic Generalization Effects Using Satellite Imagery（衛星画像を用いた地図編集成分の除去）：藤村英範
 - ・Automatic Change Detection Based on Pixel-Change and DSM-Change（画素変化と DSM 変化に基づく自動変化抽出）：藤村英範・笹川啓
- ◇平成 20 年度国土交通省国土技術研究会 平成 20 年 10 月 9～10 日 中央合同庁舎 2 号館（東京都千代田区）
- ・画像比較による地震被害の自動抽出技術の開発：高橋祥
- ◇日本写真測量学会平成 20 年度秋季学術講演会 平成 20 年 11 月 27 日～28 日 東北大学片平キャンパス 片平さくらホール（宮城県仙台市）
- ・二時期の空中写真を用いた新規建築物の自動外周先発生の試み：笹川啓

[地理調査部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2008 年大会 平成 20 年 5 月 25 日～30 日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
- ・地球地図が地球環境問題に果たす役割について：筒井俊洋・宇根寛（国土交通大学校）
 - ・地球地図・樹木被覆率データからわかること：筒井俊洋

- ・国土交通省ハザードマップポータルサイトの公開：田中庸夫
- ◇第37回国土地理院報告会 平成20年6月3日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・地球の姿を示す地図ー地球地図プロジェクトの現在ー：中川勝登（地理地殻活動研究センター）
 - ・「だいち」による災害状況把握と今後への期待ーALOS/PRISM, AVNIRー2の活用ー：田中庸夫
- ◇平成20年度国土交通先端技術フォーラム 平成20年6月20日 札幌ドーム西棟会議室（北海道札幌市）
 - ・地球地図を用いた地球環境問題等への利活用：筒井俊洋
- ◇写真測量・リモートセンシング国際学会第21回会議 平成20年7月3日～11日 北京国際会議場（中華人民共和国北京市）
 - ・Release of the Global Map Data Set Version1（地球地図第1版の公開）：中川勝登（地理地殻活動研究センター）・梶川昌三・藤村英範（測図部）・坂部真一（国際建設技術協会）
- ◇国際地質学会議2008オスロ大会 平成20年8月6日～14日 ノルウェーコンベンションセンター（ノルウェー王国オスロ市）
 - ・Global Mapping and its Implementation（地球地図とその実践）：福島芳和・中川勝登（地理地殻活動研究センター）・筒井俊洋・脇田浩二（産業技術総合研究所）
- ◇日本第四紀学会2008年大会 平成20年8月22～24日 東京大学本郷キャンパス理学部1号館小柴ホール（東京都文京区）
 - ・空中写真判読と写真測量で把握した平成20年岩手・宮城内陸地震の地表変動：関口辰夫・小荒井衛（地理地殻活動研究センター）・神谷泉（地理地殻活動研究センター）・岩橋純子（地理地殻活動研究センター）・中埜貴元（地理地殻活動研究センター）
- ◇平成20年度（社）日本地すべり学会第47回研究発表会 平成20年8月27～28日 湯本富士屋ホテル（神奈川県足柄下郡）
 - ・岩手・宮城内陸地震における斜面崩壊・地表変動ー災害状況図を中心としてー：関口辰夫・木佐貫順一・坂井尚登・田中庸夫・野口高弘・安部雅俊
- ◇土木学会第16回地球環境シンポジウム 平成20年8月30～31日 岡山大学（岡山県岡山市）
 - ・地球地図第1版の完成とその利用：梶川昌三・中川勝登（地理地殻活動研究センター）・筒井俊洋・赤塚太・鶴生川太郎
- ◇平成20年度国土交通省国土技術研究会 平成20年10月9～10日 中央合同庁舎2号館（東京都千代田区）
 - ・治水地形分類図の更新についてー千曲川流域を例としてー：杉原祐二・廣瀬勝
- ◇日本活断層学会2008年度秋季学術大会 2008年11月7～8日 東京大学山上会館（東京都文京区）
 - ・都市圏活断層図「高山周辺の活断層」（高山東部、高山西部、高山西南部）について：星野実・高橋広典・木村幸一・吉武勝宏・岡田篤正（立命館大学）・堤浩之（京都大学）・八木浩司（山形大学）・東郷正美（山形大学）・田中庸夫・長谷川学
 - ・都市圏活断層図「岩国断層帯とその周辺」（岩国、下松）について：星野実・高橋広典・木村幸一・吉武勝宏・後藤秀昭（広島大学）・中田高（広島工業大学）・田中庸夫・長谷川学
- ◇International Symposium: Fifty Years after IGY（国際シンポジウム：IGYから50年） 平成20年11月10日～13日 産業技術総合研究所つくばセンター共用講堂（茨城県つくば市）
 - ・Global Mapping and its Implementation（地球地図とその実施）：永山透・木佐貫順一・梶川昌三・筒井俊洋

[地理空間情報部]

- ◇第37回国土地理院報告会 平成20年6月3日 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)
 - ・基準となる新しい地図—国土地理院の基盤地図情報整備事業—: 出口智恵
- ◇アクセシブルインターフェース研究専門委員会第3回研究談話会 平成20年7月5日 東京工業大学附属科学技術高等学校(東京都港区)
 - ・触地図原稿作成システムについて: 三橋一文
- ◇日本国際地図学会平成20年度定期大会 平成20年8月7日~20日 国土地理院(茨城県つくば市)
 - ・「地理空間情報の活用推進と基本法」基盤地図情報の整備方針について: 鎌田高造

[測地観測センター]

- ◇GPS/GNSS 国際シンポジウム2008 平成20年11月11日~14日 東京国際交流館(東京都江東区)
 - ・GEONETの新解析戦略: 中川弘之・宮原伐折羅・岩下知真子・豊福隆史・小谷京湖・石本正芳・宗包浩志(地理地殻活動研究センター)・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)
 - ・GEONET-GPS 連続観測システム—: 豊福隆史・宮原伐折羅・中川弘之・新田浩・齊藤隆・雨宮秀雄・木村有希子・山中雅之
 - ・国土地理院の位相特性モデルの検証: 古屋智秋・豊福隆史・野口優子・湯通堂亨・中川弘之・宮原伐折羅・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)
 - ・地殻変動監視支援システムの開発: 宮原伐折羅・石本正芳・小清水寛(総務部)・石倉信広(測地部)・川元智司・雨貝知美(測地部)・植田勲(地理地殻活動研究センター)
 - ・準リアルタイム火山監視システムの開発: 川元智司
- ◇日本測地学会第110回講演会 平成20年10月22日~24日 函館市民会館(北海道函館市)
 - ・大気遅延勾配推定がGEONET解に与える影響について: 宮原伐折羅・野神憩・石本正芳・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)・雨貝知美(測地部)
 - ・GEONETにおけるアンテナ絶対位相特性モデルの検証: 野口優子・豊福隆史・古屋智秋・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)
 - ・GEONET新解析戦略による解から見た地震に伴う地殻変動: 野神憩・梅沢武・宮原伐折羅・中川弘之・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)
 - ・GEONET新解析戦略による解から見た火山周辺の地殻変動: 岩下知真子・川元智司・宮原伐折羅・中川弘之・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)

[地理地殻活動研究センター]

- ◇EGU2008 General Assembly(欧州地球科学連合2008年総会) 平成20年4月13日~18日 オーストリア国ウィーン市
 - ・Regional Wavelet Modeling of the Gravity Field Using Domain Decomposition Methods(領域分解法を用いたウェーブレットによる重力場の地域的モデリング): Isabelle Panet (IPGP)・Holschneider, M (University of Potsdam)・黒石裕樹・Minchev, B. (University of Potsdam)・de Viron, O. (IPGP・Universite Paris)・Diament, M. (IPGP)
- ◇天然資源の開発利用に関する日米会議(UJNR)耐風・耐震構造専門部会第40回合同部会 平成20年5月19日~21日 米国商務省国立標準技術研究所(メリーランド州ゲイザーズバーグ)
 - ・Slope Collapse and Ground Deformation due to "Niigatiken Chuetsu-oki Earthquake in 2007"(新

潟県中越沖地震に伴う斜面崩壊と地盤変形)：小荒井衛・佐藤浩・宇根寛 (国土交通大学校)

◇日本沿岸域学会第 21 回研究討論会 平成 20 年 5 月 22 日～23 日 名古屋港ポートビル (愛知県名古屋市)

・土地条件図を活用した沿岸域における地震脆弱性の評価：小荒井衛・佐藤浩・宇根寛 (国土交通大学)

◇日本リモートセンシング学会第 44 回 (平成 20 年度春季) 学術講演会 平成 22 年 5 月 22 日～23 日 東京工業大学すずかけ台キャンパスすずかけホール (神奈川県横浜市)

・空虚レーザスキャナの反射強度データを活用した災害状況把握：小荒井衛・長谷川裕之

・ALOS PRISM 画像の JPEG ノイズの低減処理：神谷泉・斉藤元也 (東北大学)

◇日本地球惑星科学連合 2008 年大会 平成 20 年 5 月 25 日～30 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)

・「だいち」により捉えられた中国四川省の地震に伴う地殻変動：矢来博司・飛田幹男・今給黎哲郎・小沢慎三郎・西村卓也・水藤尚・和田弘人 (測地部)・雨貝知美 (測地部)・鈴木啓 (測地部)

・地殻変動と余震データに基づく新潟県中越沖地震の震源断層モデル：西村卓也・村上亮・飛田幹男・金澤敏彦 (東京大学地震研究所)・篠原雅尚 (東京大学地震研究所)

・日向灘地域の地殻変動の時間変化：小沢慎三郎・水藤尚

・2004 年紀伊半島南東沖の地震の余効変動モデリングと東海スロースリップ：水藤尚・小沢慎三郎

・国土変遷アーカイブデータを利用した過去の景観の再現：長谷川裕之・小荒井衛

・SAR 干渉画像にあらわれた‘お付き合い’地殻変動：宇根寛 (国土交通大学校)・飛田幹男・小沢慎三郎・西村卓也

・SAR 干渉画像による能登半島地震及び新潟県中越沖地震に伴う局所的な地表変動の解析：宇根寛 (国土交通大学校)・佐藤浩・矢来博司・飛田幹男

・ハザードマップを活かすために～リアリティのあるハザードマップをめざして～：宇根寛 (国土交通大学校)・小荒井衛・鈴木康弘 (名古屋大学)

・新潟県中越沖地震に伴う地表変動と被害分布：宇根寛 (国土交通大学校)・津沢正晴・今給黎哲郎・小荒井衛

・衛星測位システムシミュレータによる、準天頂衛星の測位精度改善効果の評価について：宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・矢来博司・宮寄久 (日本測量協会)

・地下水位変化による地盤上下変動 (その 2)：畑中雄樹・黒石裕樹・宗包浩志・矢来博司・飛田幹男

・茨城県瓜連丘陵最上部の第四系火砕質イベント堆積物とその起源：大井信三・山家慎之助 (茨城大学)・安藤寿男 (茨城大学)・北村京子 (総務部)・田村糸子 (首都大学東京)

・完新世における北海道白老-鶴川海岸平野発達史と堆積環境変遷：佐藤明夫 (日本大学)・大井信三・千葉崇 (日本大学)・遠藤邦彦 (日本大学)・鈴木正章 (道都大学)

・太平洋戦争末期の地震被害を捉えた米軍撮影の航空写真：小白井亮一・宇根寛 (国土交通大学校)・長谷川裕之・鈴木康弘 (名古屋大学)・小林政能 (日本地図センター)・永井信夫 (日本地図センター)

・大規模盛土造成地を示した宅地ハザードマップ作成の課題と記載項目の表現方法について：佐野滋樹 (玉野総合コンサルタント)・小荒井衛・長谷川裕之

・GIS を使った地震による建物被害と地形分類、表層地質との関係性解析：小荒井衛・佐藤浩・宇根寛 (国土交通大学校)

・白神山地における地生態学図作成の試み：小荒井衛・佐藤浩・岩橋純子

・衛星画像と Web-GIS のハザードマップへの利活用：小荒井衛

- ・GISによるテフラデータベースのハザードマップへの活用：鈴木毅彦（首都大学東京）・中山大地（首都大学東京）・小荒井衛
- ・地震ハザードマップの高度化のための日本列島における沖積層の層厚推定：本多啓太（東京大学）・須貝俊彦（東京大学）・鈴木康弘（名古屋大学）・宇根寛（国土交通大学校）・小荒井衛
- ・かぐやのLALTデータを使用した月の地形図の作成：神谷泉・長谷川裕之・荒木博志（国立天文台）・田澤誠一（国立天文台）
- ・2007年スマトラ南部地震の地殻変動・地震断層と断層モデル：飛田幹男・小沢慎三郎・宇根寛（国土交通大学校）・水藤尚・雨貝知美（測地部）・鈴木啓（測地部）・矢来博司
- ・InSARによる2007年スマトラ島南部沖地震の地殻変動：飛田幹男・小沢慎三郎・宇根寛（国土交通大学校）・水藤尚・雨貝知美（測地部）・鈴木啓（測地部）・矢来博司
- ・表層崩壊のアセスメントに効果的な地形量計算範囲：岩橋純子・神谷泉
- ◇(社)日本地すべり学会関西支部シンポジウム「地震時の盛土地盤の地すべり」平成20年6月6日 大阪建設交流館（大阪府大阪市）
 - ・高精度な人工改変データの作成と精度評価手法：小荒井衛
- ◇地球地図フォーラム2008 平成20年6月5日～7日 国連大学（東京都渋谷区）
 - ・Automated Terrain Classification of Global Topography from 1km SRTM30 DEM (SRTM30の1kmDEMを用いた世界の地形分類図)：岩橋純子
- ◇第37回国土地理院報告会 平成20年6月3日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・「だいち」が見せた地表の動き－ALOS/PALSARの活用－：今給黎哲郎
- ◇AOGS 2008（アジア・オセアニア地球科学会2008年総会）平成20年6月16日～20日 釜山展示・コンベンションセンター（韓国釜山市）
 - ・Interplate Coupling and Slip Distribution of the Megathrust Earthquakes along the Southernmost part of the Kuril Trench for a Hundred years（100年間の千島海溝最南端部における海溝型地震の滑り分布とプレート間カップリング）：西村卓也
 - ・Fault Model of the M6.8 2007 Chuetsu-oki Earthquake, Central Japan and Triggered Episodic Deformation in the Adjacent Active Folding Area（2007年新潟県中越沖地震の断層モデルと隣接する褶曲帯における誘発された非定常変動）：西村卓也・飛田幹男・村上亮・矢来博司・林文・宇根寛（国土交通大学校）・小荒井衛・雨貝知美（測地部）・藤原みどり（測地部）・鈴木啓（測地部）・金澤敏彦（東京大学地震研究所）・篠原雅尚（東京大学地震研究所）
- ◇第8回資源開発・地質・環境保全の管理に関する国際会議 平成20年6月16日～20日 ブルガリア国 アルベナ・コンプレックス
 - ・Slope Collapse Surface Deformation and Growth of Active Fold by the Niigatoken Chuetsu-oki Earthquake in 2007, Chuetsu District, Central Japan（2007年新潟県中越沖地震による斜面崩壊・地盤変状と活褶曲）：小荒井衛・宇根寛（国土交通大学校）・佐藤浩
- ◇日本写真測量学会平成20年度年次学術講演会 平成20年6月19日～20日 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
 - ・多摩ニュータウン地区における明治以降の土地被覆変化と地形との関連：小荒井衛・中埜貴元・長谷川裕之（文部科学省）
 - ・異なる縮尺の地図からの対応点の抽出：神谷泉・井熊徹（パスコ）・山本卓司（パスコ）
 - ・山地斜面におけるDEMデータの精度検証：横尾泰宏（国際航業）・大石哲（国際航業）・岩橋純子・小荒

井衛

◇平成 20 年度日本国際地図学会定期大会 平成 20 年 8 月 8 日～9 日 国土地理院 (茨城県つくば市)

- ・ガウス-クリューゲル図法の歴史について-クリューゲル 1912 年論文及び 1919 年論文からの知見- : 政春尋志
- ・判読性向上と地形図作成 : 神谷泉

◇第 31 回国際地理学会議 平成 20 年 8 月 12 日～15 日 チュニジア国チュニス市

- ・Landscape-Ecological Map using LiDAR Survey Data for Biodiversity Evaluation of National Heritage Area (世界自然遺産地域の生物多様性評価のための航空レーザ景観生態学図) : 小荒井衛・佐藤浩
- ・Development of Tephra GIS and its Application for Hazard Mapping (テフラ GIS の開発とそのハザードマップへの活用) : 小荒井衛・鈴木毅彦 (首都大学東京)・中山大地 (首都大学東京)・大井信三
- ・Release of Global Map Version 1 (地球地図第 1 版の公開) : 筒井俊洋 (地理調査部)・宇根寛 (国土交通大学)・小荒井衛・中川勝登・梶川昌三 (地理調査部)

◇日本第四紀学会 2008 年大会 平成 20 年 8 月 22 日～24 日 東京大学本郷キャンパス理学部 1 号館小柴ホール (東京都文京区)

- ・茨城県常陸台地における下総層群のテフロクロロジー : 大井 信三・横山芳春 (早稲田大学)・菅沼悠介 (東京大学)・安藤寿男 (茨城大)
- ・テフラ GIS の構築とハザードマップへの利活用 : 小荒井衛・鈴木毅彦 (首都大学東京)・中山大地 (首都大学東京)・大井信三・佐藤浩

◇第 25 回歴史地震研究会 平成 20 年 9 月 13 日～14 日 産業技術総合研究所 (茨城県つくば市)

- ・測地データによる 1945 年三河地震断層モデルの再検討 : 高野和友・木股文昭 (名古屋大学)

◇日本地質学会第 115 年学術大会 (2008 秋田大会) 平成 20 年 9 月 20 日～22 日 秋田大学手形キャンパス (秋田県秋田市)

- ・画像判読による地表変位地形抽出の可能性 : 小荒井衛・中埜貴元・天野一男 (茨城大学)

◇第 7 回アジア GIS 会議 2008 平成 20 年 9 月 26 日～27 日 韓国釜山市

- ・Development of Outdoor-indoor Seamless Positioning System Using RFIS—Tape Embedded with RFID Tags for Positioning (電子タグを使った屋内外シームレス測位システムの開発-測位のための電子タグテープ-) : 神谷泉・小荒井衛・小白井亮一
- ・Estimation of Vegetation (Land Cover) Change or Transition on Old Developed Hill Area near Tokyo Metropolitan using Time-serial Geographic Information (時系列地理情報を活用した東京近傍の古い開発丘陵地における植生 {土地被覆} 変遷の把握) : 小荒井衛・長谷川裕之・中埜貴元

◇平成 20 年度国土交通省国土技術研究会 平成 20 年 10 月 9～10 日 中央合同庁舎 2 号館 (東京都千代田区)

- ・最新の技術を用いた過去の大地震の検証方法-1945 年三河地震 (M6.8) を例に- : 高野和友

◇日本火山学会 2008 年度秋季大会 平成 20 年 10 月 10 日～14 日 岩手大学工学部一館テクノホール (岩手県盛岡市)

- ・テフラ GIS を活用した東北地方の火山ハザードマップ : 小荒井衛・鈴木毅彦 (首都大学東京)・中山大地 (首都大学東京)

◇日本測地学会第 110 回講演会 平成 20 年 10 月 22 日～24 日 函館市民会館 (北海道函館市)

- ・北アルプス穂高岳での GPS 観測 (3) -飛騨山脈の隆起運動の測地学的検証- : 西村卓也・鷺谷威 (名古屋大学)・国土地理院穂高岳測量班

- ・2008年5月8日茨城県沖の地震 (M7.0) の震源域に見られる余効的すべり：小沢慎三郎・今給黎哲郎・水藤尚
- ・GEONETの新しい解析戦略(第4版)：畑中雄樹・宗包浩志, 古屋智秋(測地観測センター)・豊福隆史(測地観測センター)・小谷京湖(測地観測センター)
- ・平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴う地殻変動と震源断層モデル：飛田幹男・小沢慎三郎・矢来博司・西村卓也・水藤尚・今給黎哲郎・国土地理院岩手宮城内陸地震地殻変動解析グループ
- ・新しい全球重力場モデルEGM2008の日本周辺における評価：黒石裕樹
- ・1945年三河地震(M6.8)に伴う地殻変動の再検討と震源断層モデル：高野和友・木股文昭(名古屋大学)
- ・測地基準系の高度決定に向けたVLBI-GPS統合解析手法の検討：高島和宏・越智久巳一
- ・中国・四川省の地震に伴う地殻変動と震源断層モデル：矢来博司・飛田幹夫・西村卓也・雨貝知美(測地部)・鈴木啓(測地部)
- ・2008年7月19日福島県沖の地震(M6.9)の地震前・地震時・地震後の地殻変動：水藤尚・西村卓也
- ◇第17回地理情報システム学会学術研究発表大会 平成20年10月23日~24日 東京大学・生産技術研究所(東京都目黒区)
- ・国土地理院と地方自治体が連携した基盤地図情報と共用GISの整備：小荒井衛・坂部真一(国土建設技術協会)・大木章一・岡庭直久・須崎哲典・菅富美男・細川與司勝(見附市)・住田英二・藤原敏郎(測量技術協会)
- ◇The 7th Joint Meeting of The UJNR Panel on Earthquake Research (天然資源の開発利用に関する日米会議地震調査部会第7回合同部会) 平成20年10月27日~30日 ワシントン大学附属都市園芸センター(米国ワシントン州シアトル市)
- ・GSI's Urgent Countermeasure Activities against Earthquake (地震災害に対する国土地理院の緊急対応)：木下賢司・原野崇・政春尋志・今給黎哲郎
- ・New Activities and Role of the Coordinating Committee for Earthquake Prediction (地震予知連絡会の新たな活動と役割)：政春尋志・今給黎哲郎・飛田幹男・川本利一
- ・Detection of Short Term Slow Slip Event by GEONET Routine Analysis (短期的スロースリップのGEONETによる検出)：今給黎哲郎
- ・SAR-derived Deformation Fields and a Fault Model of the 2008 Wenchuan Earthquake (SARが捉えた2008年四川大地震に伴う地殻変動と震源断層モデル)：飛田幹男・矢来博司・西村卓也
- ・Fault Model of the 2007 M6.8 Chuetsu-oki Earthquake, Central Japan and Triggered Episodic Deformation in the Adjacent Active Folding Area (2007年新潟県中越沖地震(M6.8)の断層モデルと地震により誘発された隣接活褶曲帯における地殻変動の成長)：西村卓也・飛田幹男・矢来博司・村上亮・雨貝知美(測地部)・藤原みどり(測地部)・鈴木啓(測地部)・宇根寛(国土交通大学校)・小荒井衛・金澤敏彦(東京大学地震研究所)・篠原雅尚(東京大学地震研究所)
- ・Comparison of Satellite Image Interpretations between ALOS/PRISM and IKONOS, in the Case of Landslides Triggered by Wenchuan (Sichuan) EQ (汶川(四川)地震によって生じた斜面崩壊の場合におけるALOS/PRISMとイコノスの衛星画像判読の比較)：佐藤浩・Edwin Harp(USGS)
- ◇International Symposium on GPS/GNSS 2008 平成20年11月11日~14日 東京国際交流館(東京都江東区)
- ・Development of a GPS Augmentation Technique Utilizing QZSS Broadcasting (QZSS放送を用いたGPS補強技術の開発) 畑中雄樹・黒石裕樹・宗包浩志・和田晃(日本GPSソリューションズ)

- Simulation Study of the Impact of QZSS on Land Survey (準天頂衛星の地上測量への利用に関する数値模擬実験) : 宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・宮寄久 (日本測量協会)
- ◇The First World Landslide Forum (第1回斜面防災世界フォーラム) 平成20年11月18日~21日 国連大学 (東京都渋谷区)
- Analysis of Surface Deformation Induced by the Noto Hanto and the Chuetsu-oki Earthquakes in 2007 Using Synthetic Aperture Radar Interferograms (合成開口レーダの干渉画像を用いた、2007年能登半島地震と中越沖地震の地表変形分析) : 宇根寛(国土交通大学)・佐藤浩・小荒井衛・矢来博司・飛田幹男
- ◇The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall Meeting (第7回アジア地震学委員会兼日本地震学会2008年秋季大会) 平成20年11月24日~27日 つくば国際会議場 (茨城県つくば市)
- Possible Gap-filling Earthquake off Padang, Sumatra (スマトラ・パダン沖に予想される空白域を埋める地震) : 飛田幹男・小沢慎三郎・矢来博司・西村卓也・水藤尚・今給黎哲郎・政春尋志・雨貝知美 (測地部)・藤原みどり (測地部)・鈴木啓 (測地部)
- A Fault Model of the 2008 Wenchuan Earthquake Estimated from SAR Measurements (中国・四川省の地震の震源断層モデル) : 矢来博司・西村卓也・飛田幹男・雨貝知美 (測地部)・鈴木啓 (測地部)・水藤尚・小沢慎三郎・今給黎哲郎・政春尋志
- Pre-, Co- and Post-seismic Crustal Deformations due to the M6.9 off Fukushima Prefecture Earthquake on July 19, 2008 (2008年7月19日福島県沖の地震 (M6.9) の地震前・地震時・地震後の地殻変動) : 水藤尚・西村卓也
- Horizontal Displacement around Surface Deformation due to the Iwate-Miyagi Nairiku EQ Using Photogrammetric Method (岩手宮城内陸地震による地表変状の周辺の水平変位の写真測量による計測) : 神谷泉・小荒井衛・政春尋志・中埜貴元・岩橋純子
- Fault Model of 2008 Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake by Crustal Deformation Data (地殻変動データによる岩手・宮城内陸地震の断層モデル) : 小沢慎三郎・今給黎哲郎・西村卓也・飛田幹男・矢来博司・水藤尚・政春尋志
- ◇日本写真測量学会平成20年度秋季学術講演会 平成20年11月27日~28日 東北大学片平キャンパス さくらホール (宮城県仙台市)
- GPS と IC タグを用いた測位の調整方法 : 神谷泉
- 最小2乗法における重みの自動調整 : 神谷泉
- ◇2008年度空間情報科学研究センターシンポジウム-CSIS DAYS 2008- 平成20年12月11日~12日 東京大学柏キャンパス (千葉県柏市)
- 多摩地域における明治以降の土地被覆変化と立地条件との関係性解析 : 中埜貴元・小荒井衛・長谷川裕之 (文部科学省)
- テフラ GIS 構想とハザードマップへの利活用への展望 : 小荒井衛・鈴木毅彦 (首都大学東京)・中山大地 (首都大学東京)・大井信三・中埜貴元
- 戦時中の米軍撮影空中写真と最新のDEMの重ね合わせによる東南海地震津波被害の検証-戦時中の空中写真の防災情報及び空間情報としての意義- : 宇根寛 (国土交通大学)・小白井亮一 (地理調査部)・中埜貴元・長谷川裕之 (文部科学省)・小林政能 (日本地図センター)・永井信夫 (日本地図センター)・鈴木康弘 (名古屋大学)

- ◇American Geophysical Union 2008 Fall Meeting (米国地球物理学連合 2008 年秋季大会) 平成 20 年 12 月 15 日～19 日 モスコニセンター (米国カリフォルニア州サンフランシスコ市)
 - ・Impact of a Mapping Function on Spurious Vertical Deformations due to Mismodeling of Tropospheric Delay over Japan(マッピング関数が日本で見られる大気遅延量誤推定起源のみかけ上下変動に与える影響について) : 宗包浩志
 - ・Interplate Coupling and Slip Distribution of the Megathrust Earthquakes along the Southernmost Part of the Kuril Trench (千島海溝最南端部沿いのプレート間カップリングと海溝型巨大地震のすべり分布) : 西村卓也
 - ・A Fault Model of the 2008 Wenchuan Earthquake Estimated from SAR Measurements (SAR 解析結果から推定された中国・四川省の地震の震源断層モデル) : 矢来博司・西村卓也・飛田幹男・雨貝知美 (測地部)・鈴木啓 (測地部)
 - ・Wavelet Modeling of the Gravity Field Using Domain Decomposition Methods:an Example over Japan (領域分解法を用いた重力場のウェーブレット・モデル化ー日本周辺における例) : Isabelle Panet (IPGP)・黒石裕樹・Matthias Holschneider (ドイツ・ポツダム大学)
- ◇2008 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 20 年 12 月 23 日～25 日 岐阜大学 (岐阜県岐阜市)
 - ・国際 VLBI 事業活動状況報告 : 高島和宏
- ◇TX テクノロジー・ショーケース in つくば 2009 平成 21 年 1 月 23 日～24 日 農林水産技術会議事務局 筑波事務所 (茨城県つくば市)
 - ・月の地形図 : 神谷泉・荒木博志 (国立天文台)・祖父江真一 (JAXA)
- ◇第 4 回 QZSS ユーザーミーティング 平成 21 年 3 月 27 日 東京海洋大学越中島会館 (東京都江東区)
 - ・国土地理院による高精度測地補正の技術実証における LEX 信号のメッセージフォーマット : 黒石裕樹
- ◇2009 年日本地理学会春季学術大会 平成 21 年 3 月 28 日～29 日 帝京大学 (東京都八王子市)
 - ・原生自然環境 (知床) での植生三次元構造に基づく航空レーザ植生図作成の試み : 小荒井衛・中埜貴元・岩橋純子・廣瀬葉子 (国際航業)
 - ・地形分類データを活用した災害脆弱性評価の提案 : 小荒井衛・天野一男 (茨城大学)
 - ・微地形と SAR で検出した平成 19 年能登半島地震による地表変位の関わり : 佐藤浩・中埜貴元・宇根寛 (国土交通大学校)

[九州地方測量部]

- ◇日本国際地図学会第 42 回地方大会 平成 20 年 10 月 12 日 北九州国際会議場 (福岡県北九州市)
 - ・明治時代の伊能図の利用と地理空間情報 : 菱山剛秀